

編集後記

22号をお送りします。

今回の執筆者である、中田裕子・牛根靖裕のお2人は、それぞれ龍谷大学・立命館大学の非常勤講師でいらっしゃいますが、ずいぶん前から私どものグループの現地調査や研究会などに、研究協力者として参加していただいております。我々のメンバーの一員と言っていい方です。

こうした若い方に原稿を書いていただけるのも、この雑誌のフットワークの軽さからきているものと、自負いたしております。また、中田さんの論文は中国語で書かれた現地調査の成果であります。本誌では、外国語の論考についても、版下さえ執筆者でご用意いただけるのであればご相談に応じております。

さて、村岡さんを代表者とする今回の科研は、きたる3月で完了いたしますが、次年度以降も、雑誌の刊行を継続する手立てを、私どもでは準備しつつあります。これからもご支援のほどお願い申し上げます。

また、本科研の研究代表は村岡さんですが、編集は森田憲司がおこなっております。本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14 世紀東アジア史料通信 第 22 号

2014 年 2 月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究B

「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 ―石刻史料による中国地域社会史解明の試み」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室